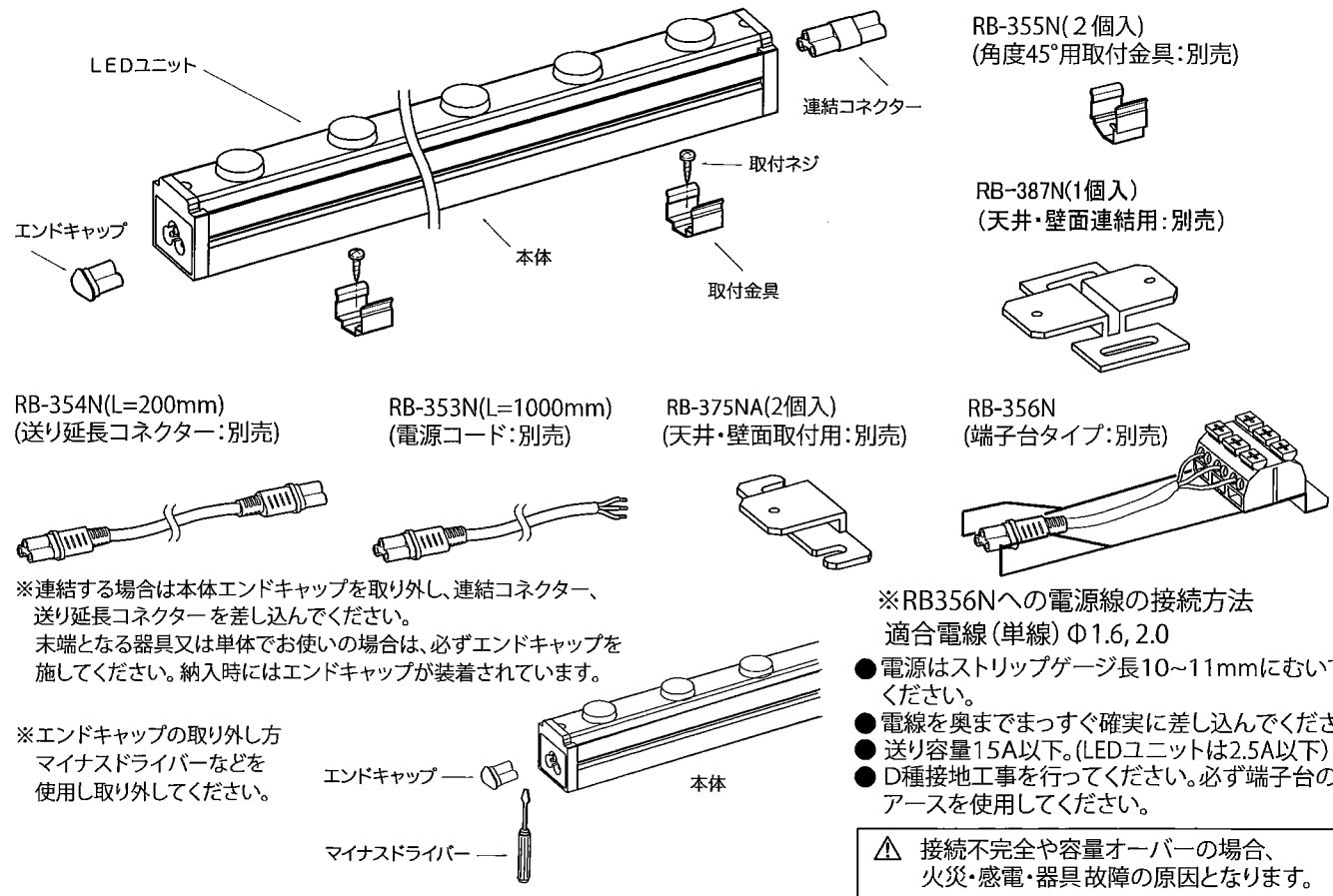


◆各部の名称



◆仕様

型番	長さ	ランプ色	配光	入力電圧	周波数	入力電流	消費電力	取付金具	
ERX9037SB	1181mm	ナチュラルホワイトタイプ	ベース	AC 100V	50/60Hz	249mA	22.2W	3	
ERX9038SB		電球色タイプ							
ERX9041SB		ナチュラルホワイトタイプ	レクタングル						
ERX9042SB		電球色タイプ							
ERX9035SB	597mm	ナチュラルホワイトタイプ	ベース			134mA	12.1W		2
ERX9036SB		電球色タイプ							
ERX9039SB		ナチュラルホワイトタイプ	レクタングル						
ERX9040SB		電球色タイプ							

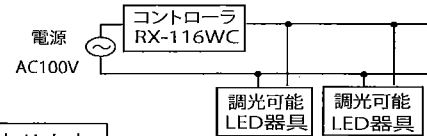
◆適合LED用ライトコントローラ<位相制御 2線式>

型番	適合コントローラ	定格電圧	周波数	最大連続台数	RX-116WC 接続可能台数	調光範囲
ERX9037SB, ERX9038SB ERX9041SB, ERX9042SB	RX-116WC	AC100V	50Hz/60Hz	7台	1~5台	約5~100%
ERX9035SB, ERX9036SB ERX9039SB, ERX9040SB				14台	2~10台	

※負荷容量は使用環境(条件)によりこととなります。詳しくはコントローラの取扱説明書を参照してください。

◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べパツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。



◆清掃方法について

△注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

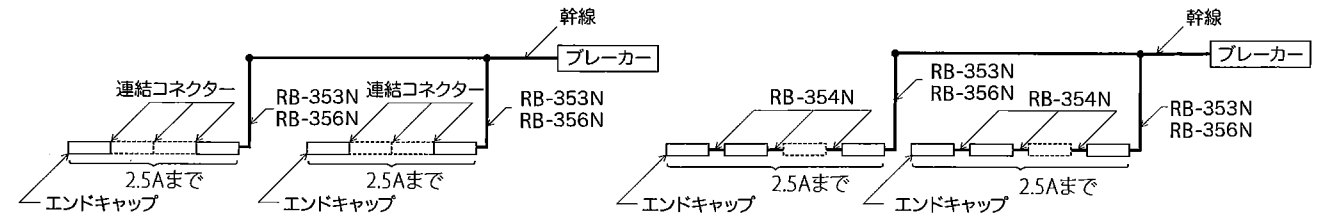
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆接続方法

※異なる長さの器具を連結させる際は、合計の電流値が2.5A以下で使用頂きますようお願いいたします。

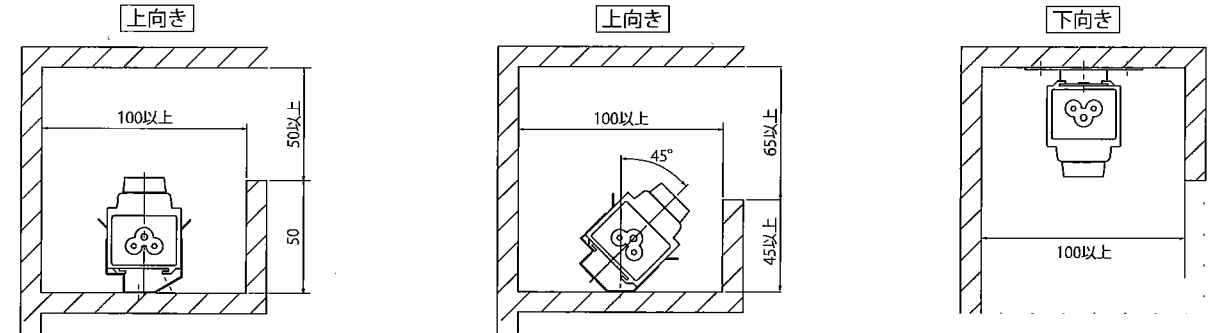
△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

※連結については以下のように配線をお願いします。



◆施工に関する注意

- ・配線長により電圧降下が起こりますので、設置条件によっては接続可能台数が少なくなります。
 - ・LEDは周囲環境によっては、十分な照度確保は困難です。
 - ・パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDが完全に消灯しない場合があります。
 - ・その他接続台数および配線長については、別途当社までお問い合わせください。
 - ・器具およびケーブルは、埋込施工などをせず、器具交換が可能な施工をしてください。
- ・最小施工寸法(付属の取付金具使用時: 上向き専用) ・最小施工寸法(別売の角度45°用取付金具使用時) ・最小施工寸法(別売のRB-375NA 使用天井取付時)



◆取付方法

1.安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

2.器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。

△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

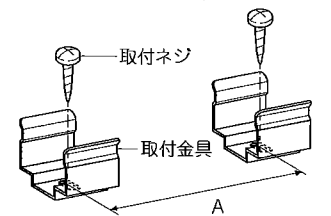
3.取付金具を付属の取付ネジで確実に取付けてください。

※取付金具の間隔は、300mm以上をお薦めします。

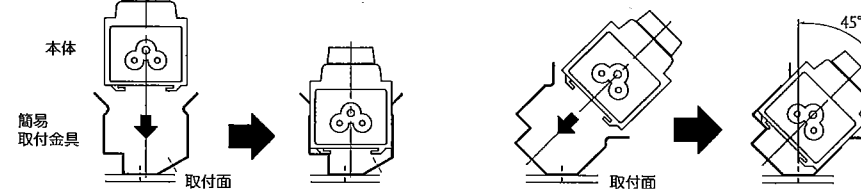
△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。

4.本体を取付金具にはめ込んで取付けてください。(上向き、30°兼用形)

△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。



RB-355Nご使用の場合



型番	A(取付ピッチ)
ERX9035SB	300mm
ERX9036SB	
ERX9039SB	
ERX9040SB	
ERX9041SB	

※ 連結する場合は付属の接続コネクタまたは送り延長コネクタ(別売)を使用してください。

※ 終端部には、付属のエンドキャップを差し込んでください。

◆電源線の接続

1.本体に電源コード(別売RB-353N, RB-356N)のコネクタを根元まで確実に差し込んでください。

2.電源コードのリード線と電源線を結線してください。

D種接地工事を行ってください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

